

愛宕山開発用地の買取に関する要望書

愛宕山地域開発事業については、当初の目的の一つである岩国基地沖合移設事業への土砂搬出事業は平成 19 年度をもって所期の目的を達成することができましたが、一方の住宅団地開発事業は、社会経済情勢の変動に伴う地価の下落や住宅需要の低迷等により、事業を継続した場合には多額の収支不足が見込まれることから、山口県・岩国市と県住宅供給公社が協議の結果、事業を中止し、用地を他の用途に転用することで合意しました。

このため、県・市では、「事業の赤字解消」を最優先に、「市が提案するまちづくり」や「周辺住民の生活環境」に配慮する方針のもとで、問題の解決に取り組むとともに、本事業がこれまで国家プロジェクトに協力してきた経緯を踏まえ、平成 19 年 11 月に県が国へ協力を求めたことを皮切りに、平成 20 年 6 月以降は県・市で国へ協力を求めてきたところです。

その後、本年 2 月に新住宅市街地開発事業の廃止に係る都市計画変更手続が完了し、現在、本市において、「周辺環境対策に配慮したまちづくり」として、国立病院機構岩国医療センターの移転を核とする「医療・防災拠点づくり」を進めようとしているところです。

つきましては、こうした地元の状況を勘案の上、早急に事業全体の赤字解消の道筋をつけるため、愛宕山開発用地の買取に関し、特段の措置がなされるよう次の事項を要望いたします。

- 愛宕山開発用地の平地の約 4 分の 3 に相当する部分（周辺の残置森林を含む）の国による買取
- 国が用地の買取後、用地を他の用途に転用するに際しては、地元住民の理解を得た上で対応されるよう最大限の配慮

平成 21 年 6 月

岩国市長 福田良彦

